

発行日 : 2015-12-10  
改訂日 : 2019-11-14

SDS番号 : IRW 0002 N - 01 WD JP  
版番号 : 02

1. 化学品及び会社情報

製品名 INK RIBBON EP-102  
製品コード 4202A  
供給者の会社名称 キヤノンマーケティングジャパン株式会社  
住所 〒108-8011 東京都港区港南 2-16-6  
担当部門 製品安全推進担当  
電話番号 03-6719-9729  
製造者 佳能電産香港有限公司  
7/F., Tower One, Ever Gain Plaza, 82-100 Container Port Road, Kwai Chung, New Territories, Hong Kong.  
推奨用途及び使用上の制限 インクリボン

2. 危険有害性の要約

GHS分類 水生環境有害性（急性） 区分2  
水生環境有害性（長期間） 区分3  
GHSラベル要素  
絵表示またはシンボル なし（参照：16.その他の情報、参照規格）  
注意喚起語 なし（参照：16.その他の情報、参照規格）  
危険有害性情報 なし（参照：16.その他の情報、参照規格）  
注意書き なし（参照：16.その他の情報、参照規格）  
他の危険有害性 なし

3. 組成及び成分情報

単一製品又は混合物の区分 混合物

成分

黒インク

化学名	濃度又は濃度範囲 (重量%)	化学特性 (分子式)	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS番号
カーボンブラック	15 - 25	C	対象外	1333-86-4
3-ヨード-2-プロピニルブチルカーバメイト	< 1	C <sub>8</sub> H <sub>12</sub> INO <sub>2</sub>	2-3456	55406-53-6
その他の着色材	非公開	非公開	非公開	非公開
オイル	非公開	非公開	非公開	非公開
樹脂	非公開	非公開	非公開	非公開

発行日 : 2015-12-10  
改訂日 : 2019-11-14

4202A  
INK RIBBON EP-102

---

その他の添加剤	非公開	非公開	非公開	非公開
---------	-----	-----	-----	-----

赤インク

化学名	濃度又は濃度範囲 (重量%)	化学特性 (分子式)	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS番号
着色材	非公開	非公開	非公開	非公開
オイル	非公開	非公開	非公開	非公開
樹脂	非公開	非公開	非公開	非公開
添加剤	非公開	非公開	非公開	非公開

その他の構成成分 : 基材 ナイロン 6-6 生地

#### 4. 応急措置

吸入した場合	適用されない。
皮膚に付着した場合	すぐに石鹼と大量の水で洗浄する。
眼に入った場合	十分な量の水で洗い流す。医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	医師の診断を受ける。
最も重要な徴候症状	
吸入	情報なし
皮膚	情報なし
眼	情報なし
経口	情報なし
慢性影響	情報なし
応急措置をする者の保護	なし

#### 5. 火災時の措置

消火剤	二酸化炭素、水、泡消火剤、粉末消火剤を使用する。
使ってはならない消火剤	なし
特有の危険有害性	なし
消火を行う者の保護	必要に応じ、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を着用する。

#### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置	情報なし
環境に対する注意事項	誤って解けたリボン巻き戻すことができなかったものや、使用後のリボンは、環境中に放置せず回収して廃棄する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	誤ってリボンが解けた場合には、巻き戻す。

#### 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	必要に応じて保護手袋を着用する。

安全取扱注意事項 取扱い後はよく手を洗うこと。

#### 保管

安全な保管条件 冷暗所に保管する。

安全な容器包装材料 適用されない

## 8. ばく露防止及び保護措置

#### 許容濃度

##### 製品

製品名	労働安全衛生法 管理濃度	日本産業衛生学会 許容濃度	ACGIH TLV
インクリボン	設定なし	設定なし	設定なし

##### 成分

化学名	労働安全衛生法 管理濃度	日本産業衛生学会 許容濃度	ACGIH TLV
カーボンブラック	3.0 mg/m <sup>3</sup>	第2種粉塵： 4 mg/m <sup>3</sup> （総粉塵） 1 mg/m <sup>3</sup> （吸入性粉塵）	TWA: 3 mg/m <sup>3</sup> （吸引性粉塵）

設備対策 通常の取扱いにおいては、特別な換気設備は不要。

#### 保護具

呼吸用保護具 通常の取扱いにおいては、不要。  
 手の保護具 通常の取扱いにおいては、不要。  
 眼の保護具 通常の取扱いにおいては、不要。  
 皮膚及び身体の保護具 必要に応じて、保護手袋を着用する。

## 9. 物理的及び化学的性質

外観（物理的状態、形状、色）	黒色インクと赤色インクを含浸させたナイロン6-6生地
臭い	情報なし
臭いのしきい（閾）値	データなし
pH	データなし
融点・凝固点（℃）	データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲（℃）	データなし
引火点（℃）	150℃以上
蒸発速度	データなし
燃焼性（固体、気体）	データなし
爆発範囲	データなし
蒸気圧	データなし
蒸気密度	データなし
比重（密度）	データなし
溶解度	

水溶性	不溶
脂溶性	データなし
n-オクタノール/水分配係数	データなし
自然発火温度 (°C)	データなし
分解温度 (°C)	データなし
粘度 (粘性率) (mPa s)	データなし
その他のデータ	なし

## 10. 安定性及び反応性

反応性	なし
化学的安定性	安定
危険有害反応可能性	データなし
避けるべき条件	なし
混触危険物質	なし
危険有害な分解生成物	通常の保管、使用条件では生成しない。

## 11. 有害性情報

急性毒性	データなし
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	データなし
眼に対する重篤な損傷性 又は眼刺激性	データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	<p>カーボンブラックの発がん性分類：          日本産業衛生学会 第2群B（人に対して恐らく発がん性があると考えられる物質。証拠が比較的十分でない物質。）          国際がん研究機関（IARC） 2B（人に対して発がんの可能性のある物質。）          国際がん研究機関（IARC） はカーボンブラックの発がん性について、人での証拠は不十分であるが、動物での十分な証拠があると評価し、グループ2Bに分類した。動物での十分な証拠とは、ラットに粉末カーボンブラックを慢性的に吸入暴露させた結果、肺の粒子過負荷を生じる量で暴露されたラットに肺腫瘍が生じたことに基づいている。ただし、通常の作業条件においては、粉末カーボンブラックの吸入暴露量は無視しうる量である。</p>
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性、単回ばく露	データなし
特定標的臓器毒性、反復ばく露	データなし

吸引性呼吸器有害性	データなし
-----------	-------

その他の情報	なし
--------	----

## 12. 環境影響情報

生態毒性	3-ヨード-2-プロピニルブチルカーバメイトの魚毒性：LD50/96H 0.067mg/L（ニジマス）
------	---

残留性・分解性	データなし
---------	-------

生体蓄積性	データなし
-------	-------

土壌中の移動性	データなし
---------	-------

オゾン層への有害性	データなし
-----------	-------

他の有害影響	データなし
--------	-------

## 13. 廃棄上の注意

廃棄は地域、国や地方自治体の適切な法律や条例に従って廃棄する。

## 14. 輸送上の注意

国連番号	該当しない
------	-------

品名	該当しない
----	-------

国連分類	該当しない
------	-------

容器等級	該当しない
------	-------

海洋汚染物質	該当しない
--------	-------

特別な注意事項	なし
---------	----

MARPOL	該当しない
--------	-------

## 15. 適用法令

労働安全衛生法 名称等を表示すべき危険物及び有害物／通知対象物	カーボンブラック（政令番号第130号）
------------------------------------	---------------------

化学物質排出把握管理促進法（化管法） 第一種／第二種指定化学物質	該当しない
-------------------------------------	-------

毒物及び劇物取締法 毒物及び劇物	該当しない
------------------	-------

消防法 危険物及び指定可燃物	指定可燃物：可燃性固体類
----------------	--------------

## 16. その他の情報

### 参照規格

本安全データシート（SDS）は、JIS Z 7253：2012（GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法 - ラベル、作業場内の表示及び安全データシート（SDS））に準じたものである。

また、GHS分類はJIS Z 7252：2014（GHSに基づく化学品の分類方法）に従っている。

ただし、JIS Z 7252に従い環境有害性に分類される場合であっても、この有害性は本製品の適用法令の対象とならないため、本製品へのラベル表示は実施していない。

### 引用文献

- 労働安全衛生法 管理濃度
- 日本産業衛生学会 許容濃度等の勧告
- 米国 産業衛生専門家会議（ACGIH），Threshold Limit Values for Chemical Substances and Physical Agents and Biological Exposure Indices
- 世界保健機構（WHO） 国際がん研究機関（IARC），IARC Monographs on the Evaluation on the Carcinogenic Risk of Chemicals to Humans

### 略語

- 化審法：化学物質の審査および製造等の規制に関する法律
- 安衛法：労働安全衛生法
- 化学物質排出把握管理促進法（化管法）：特定化学物質の環境への排出量の把握等および管理の改善の促進に関する法律
- GHS: Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals（化学品の分類及び表示に関する世界調和システム）
- ACGIH TLV: American Conference of Governmental Industrial Hygienists Threshold Limit Values（米国 産業衛生専門家会議 許容濃度値）
- TWA: Time Weighted Average（時間加重平均）
- STEL: Short Term Exposure Limit（短時間暴露限界値）
- IARC: International Agency for Research on Cancer（国際がん研究機関）
- JIS: Japanese Industrial Standards（日本工業規格）
- CBI: Confidential Business Information（営業秘密）

本SDSは、作成時における最新の資料、情報、データに基づき作成したものであり、今後、新しい知見に基づき改訂する場合があります。

尚、SDS中の注意事項は、通常の使用条件において適用されるものです。特殊な取扱いをされる場合は、ご使用者の責任において安全対策を実施してください。

本SDSは、その記載内容を保証するものではありません。